学校の歴史をのぞいてみよう

～第七小学校体育館ものがたり～

問市史編さん室
☎ 042-571-7815

令和7年7月号では、新しい市史をつくるための調査の成果として、学校の体育館建設について紹介しました。
今回は、第七小学校の体育館ができた時の様子を、卒業生の日髙教育部長に聞きました。



日髙久善教育部長

第七小学校の体育館は、昭和53(1978)年、私が6年生の時にできました。体育館が建つ前は、第七小学校と第二中学校が塀で分けられていたと記憶しています。体育の授業は主に校庭で行い、雨で校庭が使えない日などは校舎内の多目的室を使用しました。中学校の塀に沿って建っていた木造2階建ての校舎から、私たちが遊ぶ姿を、中学生のお兄さんやお姉さんが眺めていたのを覚えています。



▲建設中の体育館(昭和52年度卒業アルバムより)



▲体育館が完成した年度の卒業生が彫った校歌のレリーフ

その校舎を壊して、1階に中学校の美術室、2階に小学校の体育館ができました。卒業アルバムの集合写真は、完成したばかりの体育館の外階段で撮影しました。また、体育館の舞台左側にある校歌は、私たち第13回の卒業生が一文字ずつ彫りました。第二中学校へ進学し、1階の美術室で学んだのも良い思い出です。

今年、第七小学校は開校60周年を迎えました。これからも子どもたちの笑顔あふれる姿を願っています。



展示紹介

～武蔵国分寺の瓦の生産地　鳩山町～

国分寺市の友好都市である埼玉県比企郡鳩山町との、文化財を通じた深い関係を示す常設展示を市役所2階で行っています。是非ご覧ください。

問ふるさと文化財課 ☎ 042-312-8682

瓦を通じた国分寺市と鳩山町の交流

鳩山町がある地域は、かつて東日本有数の瓦の産地として、古代の武蔵国分寺に使われた瓦の約8割を生産していました。このような関係をいかし、鳩山町と国分寺市は、文化財を通じた交流事業を行っています。

例えば、史跡武蔵国分寺跡の講堂の基壇(土台)の西側には、鳩山町と国分寺市の住民が手作りした瓦を使用しています。また、金堂と講堂を結ぶ通路の復元に当たり、鳩山町で製作された瓦を多数活用しています。



▲史跡武蔵国分寺跡に使用されている瓦



▲鳩山町コーナーに展示しているミニ瓦

鳩山町コーナーがオープン

令和8年2月、市役所2階北側の展示スペースに「鳩山町コーナー」がオープンしました。鳩山町が、町内でとれた粘土と復元古代窯を使用して実施しているイベント「古代やきもの体験」で製作された、ミニ瓦(実物の4分の1の大きさ)を展示しています。

また、ふるさと文化財課が実施するイベント「市外文化財めぐり」について、今年度は鳩山町を訪問先として、令和9年2月に開催予定です。詳細は12月15日号の市報をご覧ください。